

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年1月4日
明治大学の所属学部・研究科	商(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年1月1日
明治大学卒業予定年月	2024年9月
留学先大学について	
留学先国	韓国
留学先大学	慶熙大学(日本語名) 경희대학교(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/韓国語
留学期間	2023年2月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	×年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):政治経済学部 経済学科 (現地言語での名称):(정경대학 경제학과) 名目上の所属学部で授業はほぼ全学部での履修が可能  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:3月～6月中旬      2学期:9月～12月中旬 3学期:    ~                      4学期:    ~
学生数	26,063名
創立年	1949年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (won )	日本円	備考
授業料	0	円	大学間協定留学のため。
宿舍費	3,022,500	円	2学期分+長期休暇(夏 62日冬 10日) 1学期:1,206,000won 2学期:1,154,000won 長期休暇:冬 9,500won 夏 9,000won/1日
食費	3,850,000	円	月 25万 won~50万 won 程度 (35万 won で 11ヶ月計算) かなり節制した時が 25万 won
図書費	66,400	円	教科書2冊
学用品費		円	
携帯・インターネット費	200,000	円	3ヶ月:6万 won 4ヶ月:7万 won
現地交通費	295,000	円	長期休みは月 40,000、学期中は月 25,000 で計算。学期中の交通費はサークル活動の 移動など。(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	50,000	円	一度の皮膚科と薬局
保険費		118,150円	形態:明治大学指定保険:11ヶ月分
渡航旅費	195,400	39,670円	往:39,670円 復:195,400won (往路復路ともに預け荷物2つ)
ビザ申請費	0	0円	
雑費		円	
その他	800,000	円	旅行(釜山・大邱など)大体で計算
その他	200,000	円	サークル活動費用
合計	8,679,300	157,820円	大体です。 9won=1円で、合計 10,099,680won



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし  
 あり (治療を受けた場所: 治療ではないが、無料の健康相談所がキャンパス内にあり、2 日分程度の症状別の薬を提供してもらえる。)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: 財布を紛失した。事務室に相談し、後日帰ってきた。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

私自身は犯罪に巻き込まれなかった。

(寮内で日本人同士の部屋で金銭盗難の疑惑があり、警察が来ていた。結局、証拠がないためルームメイト変更のみの対応となった。どんなに信用できる相手がルームメイトだったとしても、鍵付きの引き出しに入れるなど最低限気をつける。)

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

친구통신で契約。最も安いプランを選択した。(動画を見るときに少し画質が落ちる程度、他は問題なし)

通信会社は KT

寮、学校の wifi は基本的に良好。

韓国では飲食店やカフェなどどこにでも基本的に無料 wifi があるため困ることはない。

外では通信会社により使える wifi が異なる場合があるので契約時に希望を伝えると良い。(店舗や担当者により選択できないこともある)

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

外国人登録証を受領した後、銀行口座の開設が可能。学校内にある 하나銀行で開設。

口座開設前は渡航時に持参した現金とクレジットカードを使用。

開設後は wise を用いて日本にある自分の口座からオンライン送金していた。

外国人は 1 日の送金限度額と現金引き出し限度額があるため、寮費の支払いなどの際は wise で直接送金する等していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

・SE タイプの変換器 C は抜け落ちたり、接続が悪いことも多いので圧倒的 SE。着け外しが面倒なので多めに持参の方が良い。

・基本的に日本で調達できて韓国で調達できないものはない。

ただ、生活必需品(歯ブラシ・歯磨き粉・生理用品)など毎日使うものは、現地の商品が合わない時にストレスになるので多めに持参することがおすすめ。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (申請中 10) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국의역사와문화	韓国の歴史と文化
科目設置学部・研究科	教養
履修期間	1学期
単位数	3
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面授業、(校外学習1回) (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	조복현
授業内容	中間までは先史時代からの韓国の歴史についての講義、期末までは韓国の文化についての講義と生徒の発表が大体交互に行われた。
試験・課題など	中間試験・期末試験あり。教授が授業中にテスト範囲を明確に指定してくれる。 発表: 1 分程度の短いものを3回から4回。ppt なし レポート: ・発表のため 4 つほどテーマが提示され、すべてのテーマで発表の有無にかかわらず A4 のレポートを1枚ずつ ・景福宮を見学する校外学習の事後レポート
感想を自由記入	留学生専用科目。そのため、出席していれば確実に単位をもらえる。 韓国の歴史に関しては、近代より朝鮮の成り立ちに関してが多い。 地名や人物名などを覚えるのがすこし大変だが、テスト自体は簡単。 発表もレポートも短いものなので韓国語で授業を受ける練習になったと感じる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국의이슈와경제		韓国のイシューと経済	
科目設置学部・研究科	教養		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	김성일		
授業内容	韓国の社会問題についてが中心。kpop アイドルなども取り扱う		
試験・課題など	試験なし 3週に1回レポート提出。合計4回 期末レポートは20日間の韓国旅程表を作ること(A4で6枚程度)		
感想を自由記入	留学生専用科目なので、出席していれば基本的に単位がもらえる。 社会問題に関しては興味深い内容が多かった。かなり教授の趣味趣向が授業内容に反映されていると感じるので人によってはつまらないと感じるかもしれない。 レポートは授業の小感想なので楽。旅程表は少し大変だが、初回の授業で発表されている課題なのでコツコツ進めれば大したことはない。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
문화간커뮤니케이션		文化間コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	政経大学メディア学科		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	(2)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	이선영		
授業内容	異文化間のコミュニケーションにおける葛藤の発生原因について。文化間コミュニケーションを円滑かつ効率的に行うための知識と態度について。		
試験・課題など	中間試験・期末試験ともあり。内容は正誤問題、一問一答、記述式。 テンプレートあり。2回のグループ発表があった。4人程度のグループで論文を読み内容をまとめて発表する形式。1グループ 50分程度。テストの記述式では、生徒が発表した論文を中心に問題が出ていた。		
感想を自由記入	授業自体はとて面白かった。日本人が私しかいなかったため、日本の文化について授業中に聞かれることがよくあった。 週2回ある授業のうち平均1回が生徒の発表になる。生徒の発表の後に質問されることもあるため、発表の担当ではなくても論文を読む必要があるが、週に2つ程度の論文を読むことが最初はかなり負担だった。発表担当になると指名されてから早いと1週間で発表の準備を終わらせなければいけないため、大変だった。専攻の授業だが、専門用語が少ないため初期知識がなくても内容は理解できる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
(SDGs)글로벌문화지형과문화다양성		(SDGs)글로벌文化地形と文化多様性	
科目設置学部・研究科	教養		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が2回		
担当教授	김성일		
授業内容	前半は SDGs の概念や内容、成り立ちに関する講義と、“文化”に関する講義 後半はチームごとで“文化”と“SDGs”に同時に貢献することのできるプロジェクトの計画と発表。		
試験・課題など	試験はなし。 課題:前半は SDGs のうち講義で取り扱った目標に対してコミットする活動をレポートにまとめる形式で2週に1回程度。 後半はティンブルになる。中間発表と期末発表がありそれぞれ 15 分程度。発表に使う ppt が最終レポート代わり。		
感想を自由記入	日本で SDGs について学んでいたため、前半の講義・レポートは大変ではなかった。後半は本格的なティンブルのため、少し大変だった。しかし、中間報告の後、グループ毎に教授と面談時間がありフィードバックをもらうことができるなど、日本では経験したことのない具体的で内容の濃いグループワークができたことはとても良かった。 SDGs に関しても捉え方や重点をおいている項目などに、日韓の違いがあり興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
무역상무론		貿易商務論	
科目設置学部・研究科	政経大学貿易学科		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	(4)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業、1回のみオンラインのオンデマンド式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	이대연		
授業内容	貿易取引契約の流れと手続き、Incoterms など 貿易実務について学んだ。		
試験・課題など	課題はなし。 中間試験は持ち込みなしの記述式 期末試験はオープンブックの記述式		
感想を自由記入	試験は記述式だが、定義を問う問題のため難しくはなく、留学生専用のためほぼ確実に単位をもらえる。しかし、範囲が多いのと、初見の単語が多くあったため試験勉強自体は大変だった。単位交換のためにとつたが、内容や講義は面白くない。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
국제금융론		国際金融論	
科目設置学部・研究科	政経大学貿易学科		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	(4)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面形式、1回のみオンラインのオンデマンド形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	이대연		
授業内容	為替相場の決定理論や、政策が為替相場に影響を与える過程についての講義。		
試験・課題など	中間試験、期末試験ともに記述式。課題はなし。		
感想を自由記入	<p>日本で金融や経済学に関する授業をあまり履修しておらず、初期知識や単語のない状態で授業を聞いたため、ついていくのが大変だった。試験では、グラフを用いて説明する必要があるなど、完璧な理解と応用が求められた。また、理論など英語で説明があったところは英語も暗記が必要だった。</p> <p>内容の難易度やテストは日本も含めてこれまでの大学生活で最も難しかったが、授業では理論を実際の事象と絡めての説明があり、授業前には国際時事について取り上げる時間があるなど、授業自体がつまらないわけではないので耐えられた。</p>		



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中に就職活動をしようとしたが、周りが楽しんでいる中で進めるのはとても大変だった。  
留学前に就職活動についてできる限り把握し、留学中に最低限何をすべきか計画することをお勧めする。  
留学中に就活を始めたいと思って相談する相手がいないため大変だと思う。  
全くやらないことも選択肢のうちではあるがそれも含めて、留学前に検討した方が良い。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOPIK 受験(4級合格)→留学を考え始める→7月から学内選考書類作成
	8月～9月	書類提出・9月面接→派遣先決定
	10月～12月	TOPIK 受験(6級合格)・出願・ビザ申請
留学開始年	1月～3月	保険契約・航空券購入・寮契約・履修登録→2月末現地ot→3月授業開始
	4月～7月	4月:中間試験・5月初:学祭、6月中:期末試験・6月末～夏休み
	8月～9月	8月:履修登録・9月:授業開始・9月中:学祭
	10月～12月	10月:中間テスト・12月中:期末テスト・12月末:冬休み
留学/帰国年	1月～3月	1月:帰国・留学報告書作成
	4月～7月	
	8月～9月	卒業予定
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私は大学3年の春学期にたまたま閲覧した留学報告書をきっかけに留学に興味を持ちました。それまでは、留学どころか海外に行くこと自体に興味がありませんでした。そのため中学レベルの英語すらわかりません。韓国語は必修の第二外国語をきっかけに初め、コロナ禍で趣味として継続しており、韓国への交換留学の語学基準を満たしていることを知って、5月ごろに決断しました。興味を持つのが遅かったため、準備に関してはかなり大変だったと感じています。それまで学業に重点を置いておらず、GPAがほとんどの大学の出願にギリギリの状態、出願を諦めた大学もあります。また、あまり貯金もしていなかったため、バイトも頑張る必要がありました。「もっと早く興味を持っていたら…」これに尽きます。また、留年覚悟での4年次の留学は、正直とても迷いました。それでも、異国の地という新たな環境で、新たな価値観や自分を知るという、留学ならではの経験を就職前にできてよかったと思っています。早ければ早い方がいいとは思いますが、遅いからと諦める必要はないです。今、この報告書を見て興味を持ったなら留学しましょう。

私は、ソウル(所属しているテーマに関連がある地域だから)・留学生が多い(様々な訓示の人と関わりたいから)・サポートの充実(韓国語に自信がないから)を基準に学校選びをしました。3校のみ希望を出し、第2希望の大学に派遣されました。第1希望に通らず落胆しましたが、帰ってきた今は慶熙でよかったと思っています。おそらく、どこに派遣されたとしても、そこだけでの特別な日々が送れていたと思います。どこにいるかよりも、そこで何をやるかが重要です。

留学前にしておけばよかったと思うことは、「言語学習」と「やりたいことを具体的にたくさん考えておくこと」です。言語学習は言わずもがなだと思いますが、どれだけやっても足りないと思って、出発前にできる限り伸ばすことをお勧めします。出発前にサボってしまっていたことが留学のいちばんの反省です。英語は絶対に必要ではないですが、使えた方が楽しいです。寮では韓国語よりも英語を使う機会が多くありました。中学英語がわからない状態でも一生懸命話せばたくさんの友達を作ることができましたが、友達に対する申し訳ない気持ちや、もっとお互いのことについて話したいという思いから、英語への意欲とこれまで英語を勉強しなかったことへの後悔は大きかったです。もし韓国語の勉強の合間に少しでも時間があるなら英語にも手を出してみたいと思います。

「やりたいことを考える」ですが、行ってみて思ったより暇な時間が多いと感じました。その時間をどう過ごすかは自分にかかっている、もっと考えておけばよかったです。出願手続きやバイトなど忙しいとは思いますが、できる限りたくさん考えてみてください。学校に関連していなくても、ふざけたことでもなんでもいいです。1人旅行したいとか、クラブに行ってみたいとか、アイドルの出待ちしてみたいとか、アルバイトしてみたいとか…日本でためらってしまっていたことでも留学精神でなんでもできます。とにかく些細なことでもたくさんメモしてみてください。考えたことを全部叶えられるくらい時間はたくさんあります。学業はどうにかなるので、それ以外の時間をどう過ごすかが留学の充実度を決めます。私も、日本では飲まないのに昼まで飲んだり、深夜に寮の前でサッカーしてみたり、ロビーで映画を見たり、学祭のアイドル見るために徹夜で並んでみたり、そういう一見無駄なことが記憶に残っていて貴重な時間だったと感じています。

留学中困ったことは韓国人の友達を作ることでした。授業で友達を作ることにはほぼできないですし、寮に韓国人があまりいなかったことは想定外でした。

でも、サークルに入ってみたり、自分から話しかけてみたり、紹介してもらったりと地道に人脈が増えていきました。行動あるのみです。色々なところに出かけて、色々なコミュニティやイベントに参加してみてください。

私は、交友関係を広げるために最初の15分頑張ること、フツ軽になることを心がけました。最初の15分だけ頑張っただけで合わなかったら、疎遠になってもいいと思います。ただ最初の10分15分頑張るだけで良い友達と出会えるかもしれません。そして誘われたらとりあえず行ってみましょう。あらゆるチャンスを逃さないことが大事だと思います。そうしているうちに、人見知りの私でも英語ができないのに英語話者のグループにいたり、韓国の美大生と飲み友達になっただけで、日本では考えられないくらい人脈を増やしていました。この人脈と友人たちと過ごした些細な日常が留学の大きな成果だったと感じています。

この1年間は充実しすぎていて、人生で一番短い1年でした。

とにかく全ての時間を無駄にせず楽しんでください。皆さんの留学を応援しています。